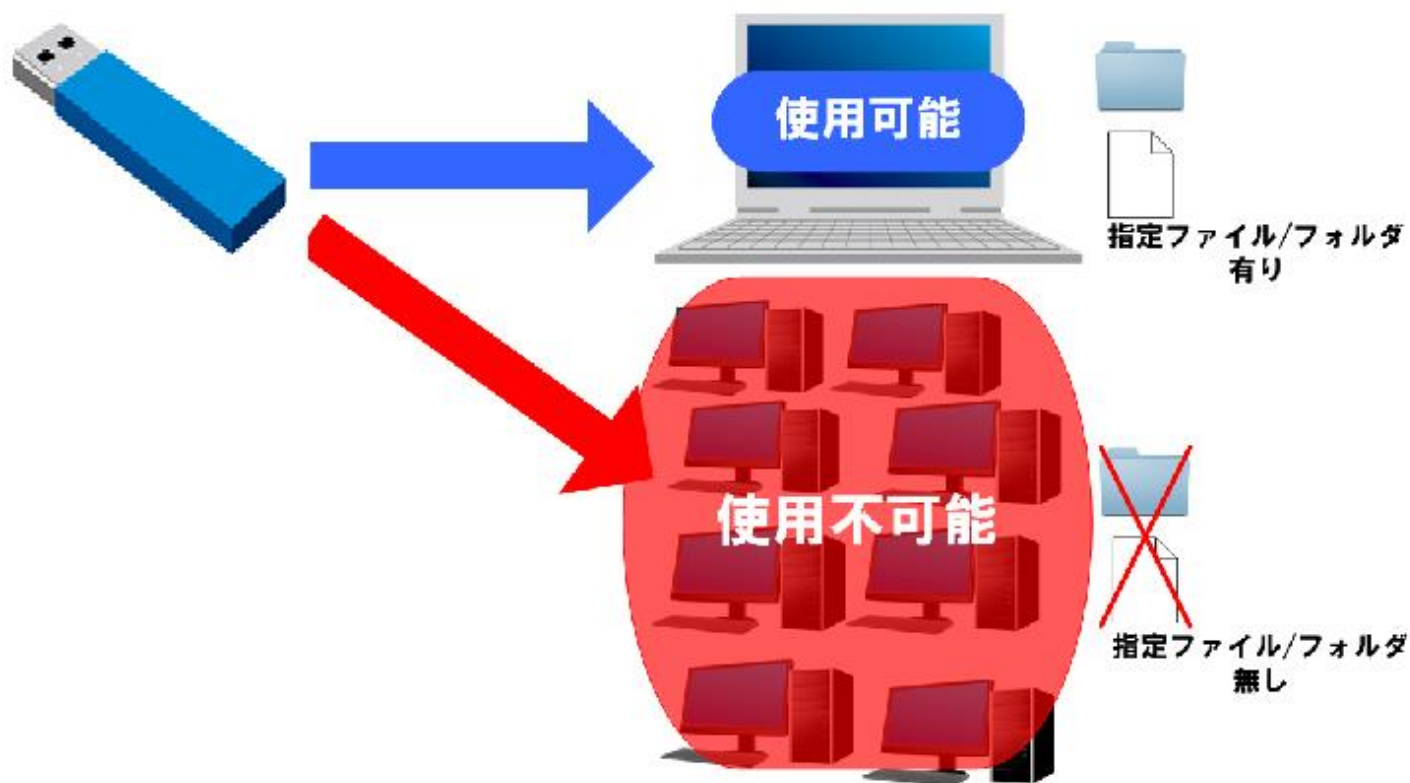


SecurityUSB 実行制限 簡易マニュアル

この度は SecurityUSB Manager(以下、本ソフトウェア)をご購入いただき誠にありがとうございます。
このマニュアルでは SecurityUSB Manager を使用し、特定 PC のみ SecurityUSB を実行できるようにする方法について記載しております。



1 セキュリティ USB 実行制限の流れ

[管理者]

① セキュリティ USB/HDD の利用を許可する PC を決定する。例；社内の PC、特定部署の PC

利用許可するPC



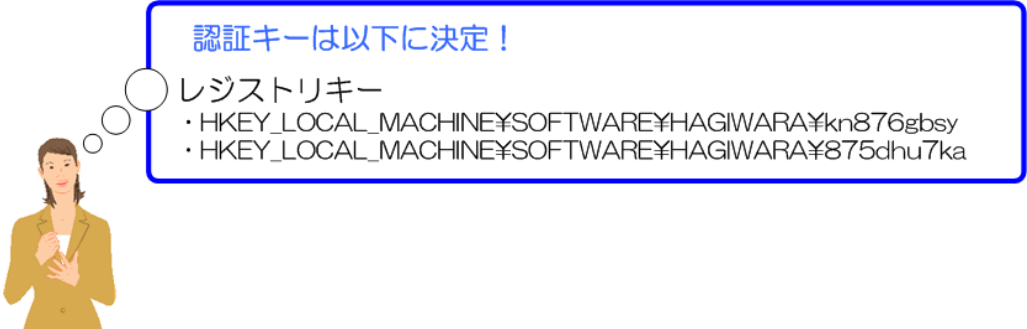
[管理者]

②：利用許可する PC に認証キーとして使用する固有のファイル/フォルダ/レジストリキー/MAC アドレス/IP アドレス/ワークグループ/ドメインを作成/登録する。

認証キーは以下に決定！

レジストリキー

- ・ HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥HAGIWARA¥kn876gbsy
- ・ HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥HAGIWARA¥875dhu7ka



[管理者]

② ②で決定した認証キーをセキュリティ USB/HDD の利用許可する PC へ登録/コピーしてください。登録/コピー方法はお客様が決定、実行願います。予め利用許可する PC に認証キーがある場合は登録/コピーを行う必要はありません。

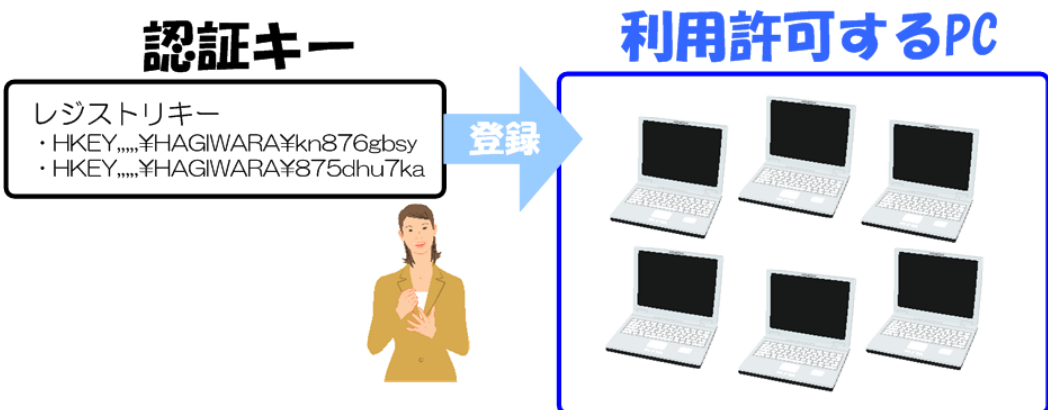
認証キー

レジストリキー

- ・ HKEY_¥¥HAGIWARA¥kn876gbsy
- ・ HKEY_¥¥HAGIWARA¥875dhu7ka

登録

利用許可するPC



[管理者]

③ セキュリティ USB マネージャを使用し、セキュリティ USB/HDD へ認証キーを登録してください。登録後後ユーザーへ配布を行なってください。セキュリティ USB マネージャの用法は次ページをご覧ください。

認証キー

レジストリキー

- ・ HKEY_¥¥HAGIWARA¥kn876gbsy
- ・ HKEY_¥¥HAGIWARA¥875dhu7ka

入力

セキュリティUSB マネージャ

登録

セキュリティUSB



セキュリティ USB マネージャを使用した、セキュリティ USB の実行制限方法実行制限の流れ

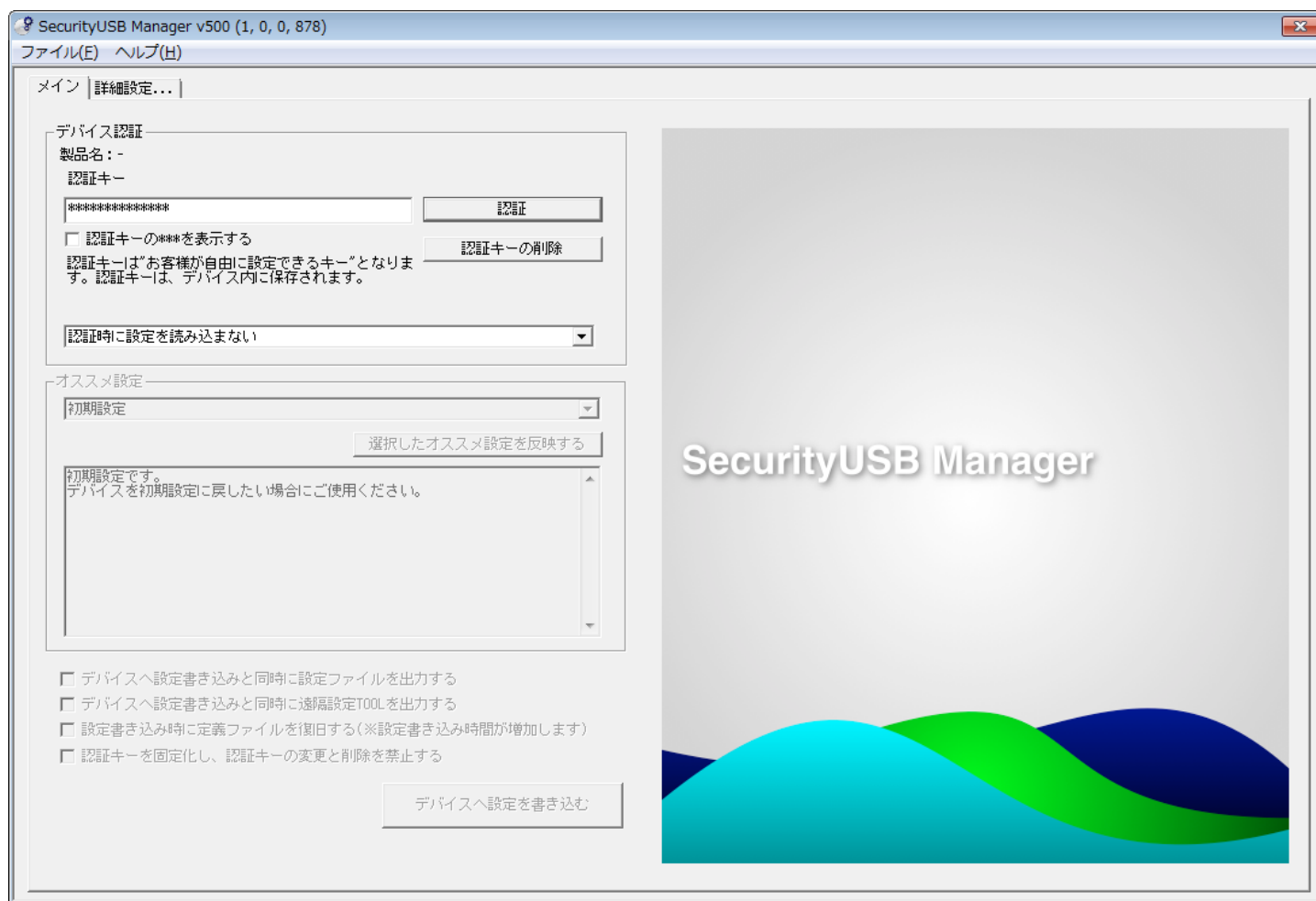
セキュリティ USB マネージャを使用し、セキュリティ USB へ実行制限を掛ける方法を説明致します。実行制限についてのみ記載致しますので、別機能につきましてはセキュリティ USB マネージャのマニュアルをご覧ください。

1: セキュリティ USB へ認証キー登録/セキュリティ USB と認証

セキュリティ USB マネージャを起動してください。メインタブに以下画面が表示されます。まず始めにセキュリティ USB へ認証キーを登録する必要があります。認証処理を行わないと、各種設定を行うことができません。

認証キーはおお客様のセキュリティ USB を管理するための” **お客様が自由に決定できるキー**” となります。他のお客様と被らないようなキーをご使用ください。またお客様がお持ちのセキュリティ USB には全て同じ認証キーを付けてください。

本ソフトウェアを起動し、タブ[メイン]を開いてください。お客様が決定した認証キーを[認証キー欄]へ入力し、[認証]ボタンを押してください。認証キーがセキュリティ USB へ登録され、設定が可能になります。



認証成功後、[詳細設定]タブを選択してください。その他の設定項目タブが展開されます。

2: 実行制限条件を設定する

1: 実行制限条件の設定を行います。[実行制限/コピーガード]タブを選択してください。以下の画面が表示されます。実行制限条件を設定するにはまず、上部にある[セキュリティ USB の実行制限を有効にする]を選択してください。選択すると条件設定が行えるようになります。

実行制限 (全製品対応)

☐ セキュリティUSBの実行制限/コピーガードを無効にする

☒ セキュリティUSBの実行制限を有効にする

☐ セキュリティUSBのコピーガードを有効にする

実行制限/コピーガードのヘルプ

※コピーガードの設定はタブ: コピーガード2/操作ログで行ってください。

実行条件

☐ AND方式

☒ OR方式

☐ AND + OR方式

ファイル/フォルダ/レジストリキー/IPアドレス(IP:)/MACアドレス(MAC:)/ワークグループ(DN:)/ドメイン名(DN:)を実行キーとして設定可能です
IPアドレス以降の実行キーを入力する場合、実行キーの前に()の値を追記してください。
例: MAC:11-22-33-44-55-66

AND方式

この設定項目がPC上に全て存在する場合、セキュリティUSBを実行できます。
または、この設定項目がPC上に全て存在する場合、オフィスモードで動作します。

設定値

追加する

削除する

一括設定

OR方式

この設定項目の内一つでもPCに存在する場合、セキュリティUSBを実行できます。
または、この設定項目の内一つでもPCに存在する場合、オフィスモードで動作します。

c:\¥12345.txt	
MAC:11-22-33-44-55-66	
IP:128.1.105.1-128.1.105.3	
IP:192.168.1.220	

設定値

追加する

削除する

一括設定

自動パスワード解除設定

☒ 自動パスワード解除を行わない

☐ 自動パスワード解除を行う

制限PCでの起動設定

☒ 制限PCでは一切使用させない

☐ 制限PCではパスワード入力画面を表示する
(パスワード認証で使用可能)

2：次に実行条件方式を決定します。実行条件方式とは認証キーをどの様に存在した時にセキュリティ USB/HDD の実行を許可するかを決定する方式です。実行条件には以下の AND 方式、OR 方式、AND+OR 方式があります。お客様の都合のよい方法を選択してください。

方式	[1]AND 方式	[2]OR 方式
内容	設定項目が” 全て ” PC に存在する場合にセキュリティ USB/HDD が使用可能になる設定です。 例： 設定 1：C:¥file1.bin・・・ファイル 設定 2：C:¥folder1・・・フォルダ 設定 3： HKEY_CURRENT_USER¥Software¥TEST¥TEST1・・・レジストリキー PC 内に設定 1，2，3” 全て ”存在する場合、セキュリティ USB/HDD が実行可能になります。	設定項目の中で 1 つでも該当設定が存在する場合にセキュリティ USB/HDD が使用可能になる設定です。 例： 設定 1：C:¥file2.bin・・・ファイル 設定 2：C:¥folder2・・・フォルダ 設定 3： HKEY_CURRENT_USER¥Software¥TEST¥TEST2・・・レジストリキー PC 内に設定 1，2，3の内、“ 最低一つ ”存在する場合、セキュリティ USB/HDD が実行可能になります。
設定項目	最大 5000 個※	最大 5000 個※
使用用途	特定のファイル、フォルダ、レジストリキーなどを全 PC に設定できる場合。 例：全 PC をアクティブディレクトリで管理している、新規に PC を調達した場合など	PC 内のファイル、フォルダ、レジストリキー構成を変更できない、また共通のファイル等がない場合。 例：PC の回収が難しい場合など

※注意：USB2.0 モデルと USB3.0 モデルのバージョン 400 以前は最大 15 個まで対応となっております。

AND+OR 方式は AND 条件と OR 条件両方を満たす場合、セキュリティ USB/HDD が実行可能になる方式です。

3：方式を決定したら、認証キーを登録します。[設定値]欄へ認証キーを入力し、[追加]ボタンを押してください。認証キーは最大 99 個まで登録可能です。
追加した条件を削除した場合は、項目を選択し、(削除する)ボタンを押してください。
[一括設定]からは認証キー情報を記載したファイルを一括で読み込ませることができます。最大 5000 個まで登録可能です。

AND方式

この設定項目がPC上に全て存在する場合、セキュリティUSBを実行できます。
または、この設定項目がPC上に全て存在する場合、オフィスモードで動作します。

設定値

追加する

削除する

一括設定

OR方式

この設定項目の内一つでもPCに存在する場合、セキュリティUSBを実行できます。
または、この設定項目の内一つでもPCに存在する場合、オフィスモードで動作します。

c:¥12345.txt
MAC:11-22-33-44-55-66
IP:128.1.105.1-128.1.105.3
IP:192.168.1.220

設定値

追加する

削除する

一括設定

認証キーの設定

認証値としては以下を設定することができます。

- ファイル/フォルダの有無
- レジストリキーの有無
- MAC アドレス
- IP アドレス
- ドメイン
- ワークグループ

認証条件(AND/OR)に合わせて、[設定値]枠へ認証値を入力し、[追加する]ボタンを押してください。画面上では最大 99 個まで登録可能です。99 個以上登録する場合、[一括設定]ボタンを押して、テキスト形式で登録をしてください。最大 5,000 個まで登録可能です。

AND方式

この設定項目がPC上に全て存在する場合、セキュリティUSBを実行できます。
または、この設定項目がPC上に全て存在する場合、オフィスモードで動作します。

設定値

追加する 削除する 一括設定

OR方式

この設定項目の内一つでもPCに存在する場合、セキュリティUSBを実行できます。
または、この設定項目の内一つでもPCに存在する場合、オフィスモードで動作します。

c:\¥12345.txt	
MAC:11-22-33-44-55-66	
IP:128.1.105.1-128.1.105.3	
IP:192.168.1.220	

設定値

追加する 削除する 一括設定

■ファイル/フォルダ設定

使用する PC 内に指定したファイル/フォルダが存在するかで判定します。

【設定例】

認証に使用するファイルを設定する場合、ファイル保存場所のフルパスを設定してください。

例：C:\¥test¥test フォルダ下の test.bin ファイルを認証ファイルにする場合、設定項目へ
C:\¥test¥test¥test.bin

【上級者向け設定】

環境設定を使用し、設定することができます。ユーザ名などフルパス内のフォルダに入っている場合等にご使用ください。

例：C:\¥Documents and Settings¥user1¥test¥test.bin を設定する場合

※ PC のログインユーザによって user1 が user2 などに変わります。

設定例：%USERPROFILE%\¥test¥test.bin

■レジストリキー設定

使用する PC 内に指定されたレジストリキーが存在するかで判定します。レジストリキーをルートからすべて設定してください。

【設定例】

例：HKEY_CURRENT_USER¥Software¥TEST¥TEST2

■MAC アドレス設定

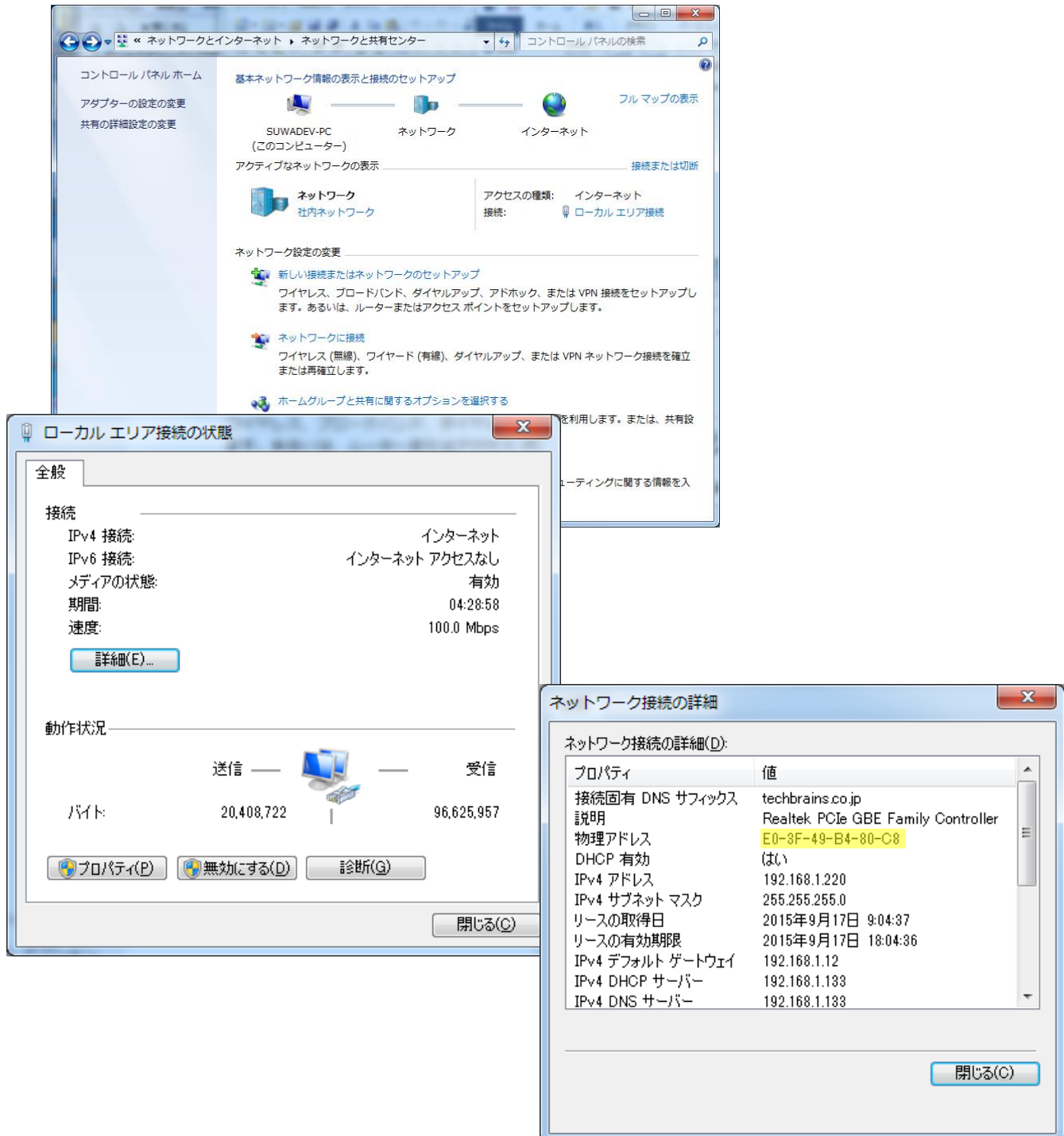
使用する PC の MAC アドレスが指定した MAC アドレスと一致するかで判定します。
MAC アドレスの先頭に "MAC:" を付けて設定をしてください。

[設定例]

例 MAC:11-22-33-44-55-66

[PC の MAC アドレスの確認方法]

コントロールパネル→ネットワークとインターネット→ネットワークと共有センター→アクティブなネットワークの表示からローカルエリア接続を選択→詳細ボタン 物理アドレスとして表示されています。



■IP アドレス設定

使用する PC の IP アドレスが指定した IP アドレスと一致するかで判定します。

IP アドレスの先頭に "IP:" を付けて設定をしてください。

IPv4 のみ対応しております。IPv6 には対応しておりません。

[設定例]

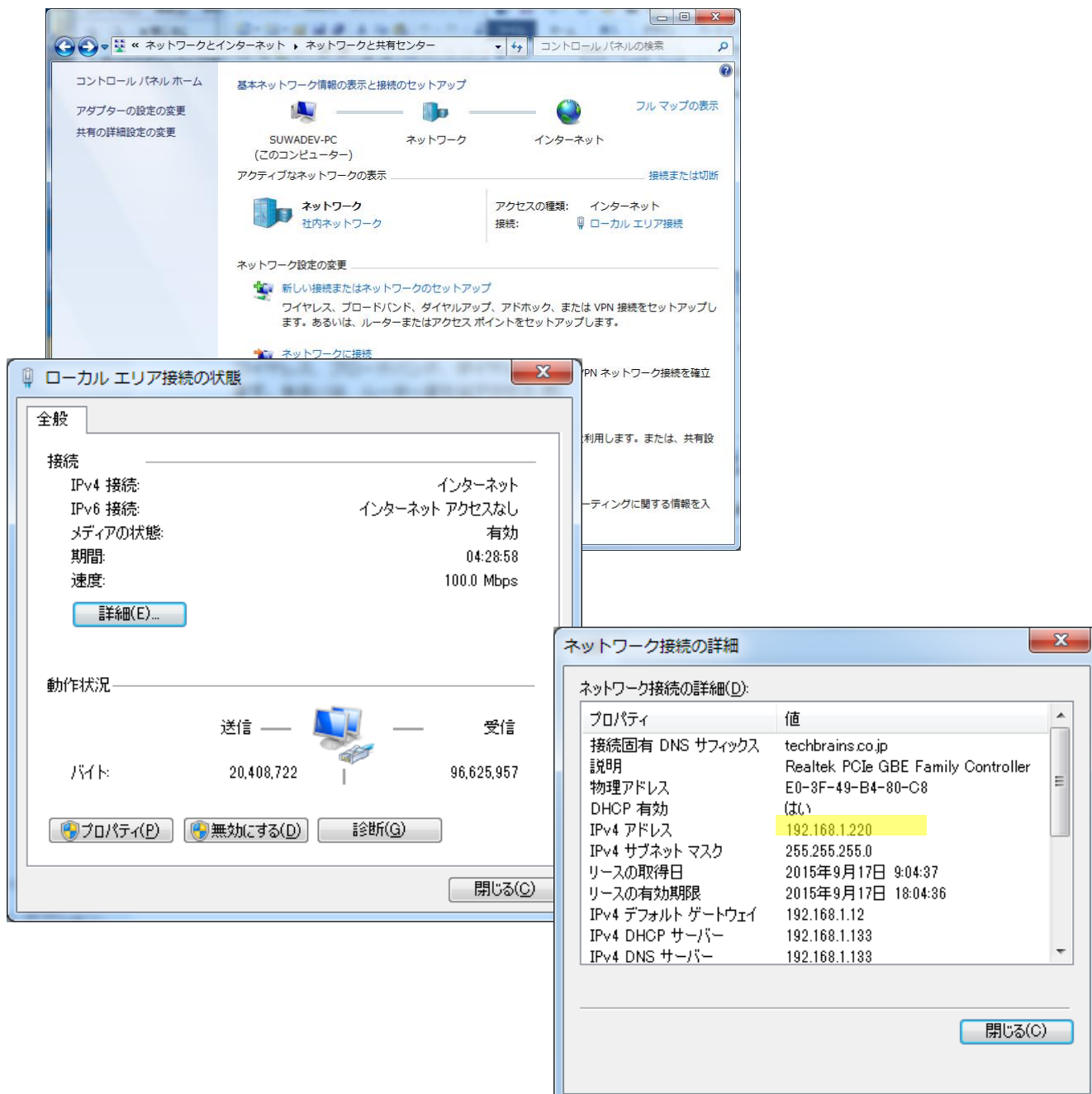
例 IP:192.168.1.220

範囲指定や、サブネットマスクでの設定も可能です。

- ・範囲指定例：128.1.105.1-128.1.105.3 や 128.1.121.1-128.1.125.255
- ・サブネットマスク例：198.51.100.0/24

[PC の IP アドレスの確認方法]

コントロールパネル→ネットワークとインターネット→ネットワークと共有センター→アクティブなネットワークの表示からローカルエリア接続を選択→詳細ボタン IPv4 アドレスとして表示されています。



■ドメイン設定

使用する PC のドメインが指定したドメインと一致するかで判定します。
ドメインの先頭に "DN:" を付けて設定をしてください。

[設定例]

例 DN:hagisol.co.jp

[PC のドメインの確認方法]

コマンドプロンプトで、『nbtstat -n』と打ち込んで表示される、NetBIOS ローカルネームテーブルで、種類がグループとして表示されている行の名前の部分が、NetBIOS ドメイン名です。

■ワークグループ設定

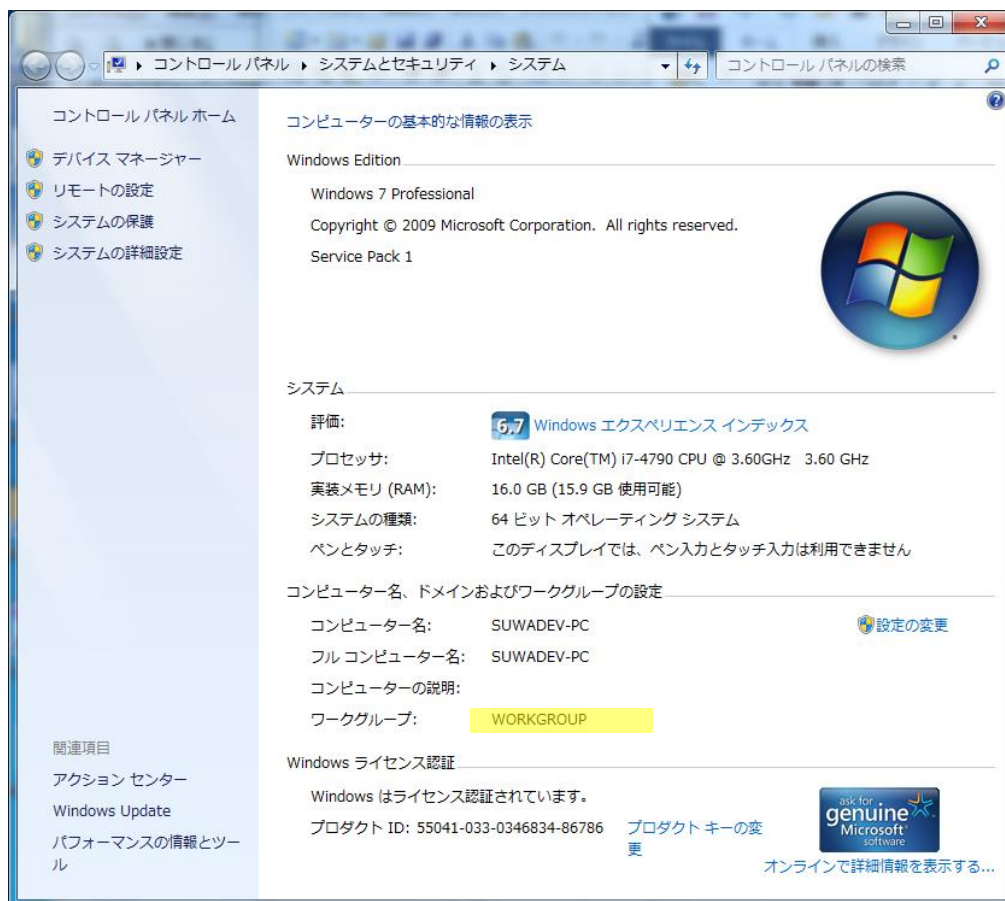
使用する PC のワークグループが指定したワークグループと一致するかで判定します。
ワークグループの先頭に "DN:" を付けて設定をしてください。

[設定例]

例 DN:WORKGROUP

[PC のワークグループの確認方法]

コントロールパネル→システムとセキュリティ→システムで表示されるワークグループ名



認証値についての説明は以上になります。

4.セキュリティ USB/HDD の実行条件を満たした PC 上でのパスワード解除方法の設定を行います。

自動パスワード解除設定

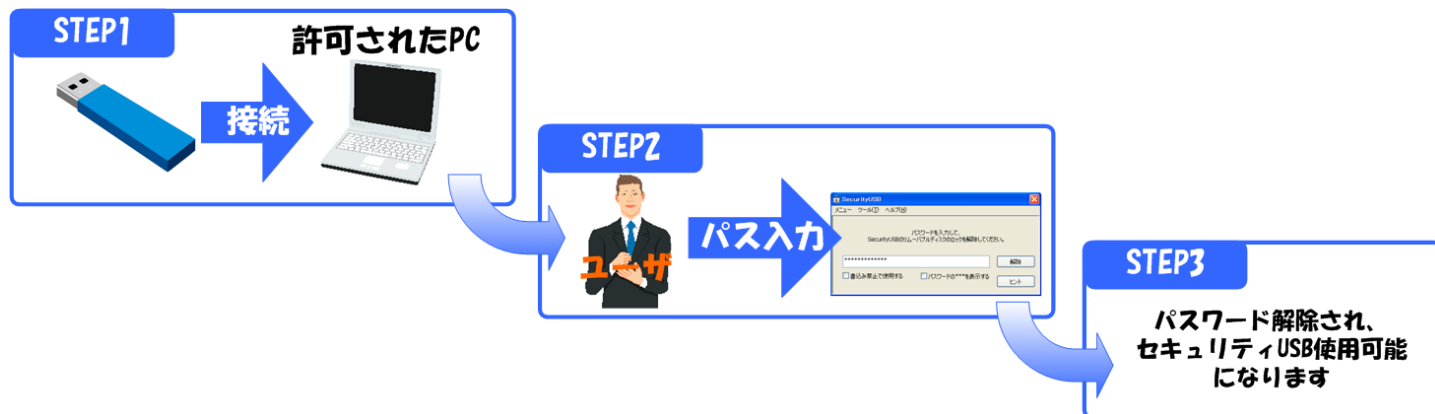
☒ 自動パスワード解除を行わない

☐ 自動パスワード解除を行う

解除方法は2つから選択できます。

①：自動パスワード解除を行なわない

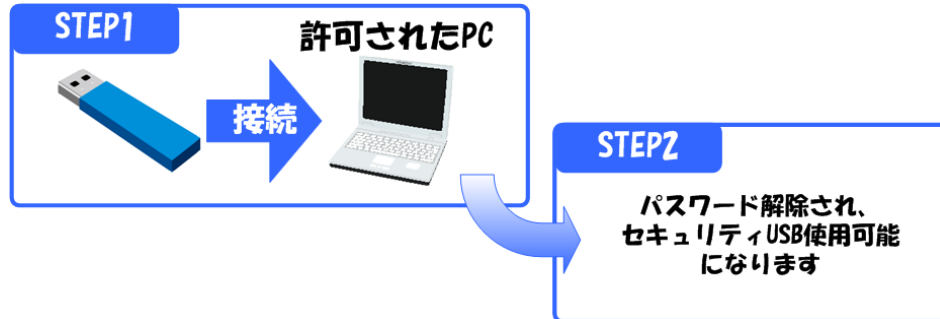
実行条件を満たす PC ではパスワード入力が可能になり、ユーザが毎回パスワードを入力し、セキュリティ USB/HDD を使用可能にします。



②：自動パスワード解除を行う

実行条件を満たす PC ではセキュリティ USB 自身が自動でパスワード入力しセキュリティ USB/HDD を使用可能にします。ユーザによるパスワードの入力が必要無くなります。

※ 本設定を行っても、制限が掛かっている PC ではセキュリティ USB/HDD を使用出来ません。



5.セキュリティ USB/HDD の実行条件を満たしていない PC 上でのパスワード解除方法の設定を行います。

制限PCでの起動設定

☒ 制限PCでは一切使用させない

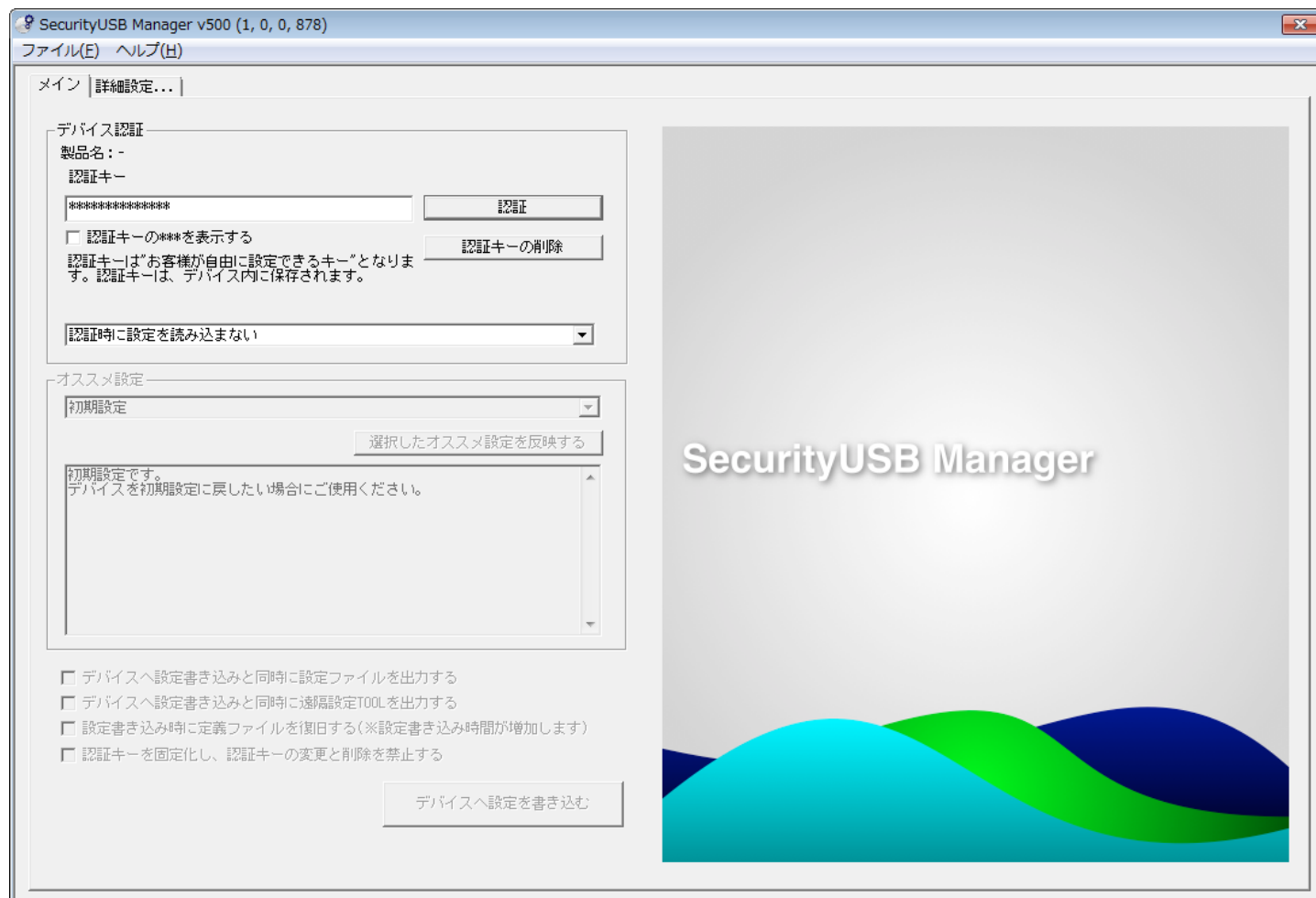
☐ 制限PCではパスワード入力画面を表示する
(パスワード認証で使用可能)

制限されている PC でパスワード入力を許可する設定ができます。自動パスワード解除設定を[制限 PC ではパスワード入力画面を表示する]へ設定しご使用ください。

※ 制限されている PC でセキュリティ USB/HDD を一切使用させたくない場合、本設定は行なわないでください。

3: セキュリティ USB へ設定を書き込む

設定をセキュリティ USB へ書き込みます。 メインタブを選択し、下部にある[デバイスへ設定を書き込む]ボタンを押してください。



以上でセキュリティ USB への実行制限設定は終了です。